

# 例会報告

## 第2809回例会報告議事録

日時 令和7年12月23日(火曜日)

場所 ハート柏迎賓館

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「手に手つないで」

ゲスト：我孫子市警察署 署長 佐藤渉様  
警務課係長 たかぎとしき様

ビジター：なし

S.A.A.：小野会員

## 会長挨拶

柳田会長



明日はクリスマスイブということで「メリクリ」なんてやっている、すぐ「あけおめ」ってなっちゃって、またひとつ歳とっちゃった、みたいな感じになると思うのですが、本当に、今年1年を振り返ってみると、7月1日に会長という職に就かせていただきまして、毎週この場でお話しさせていただくということで、お話しすることを毎回考える、探すっていうのは、すごくいいことなのかなと思います。

四つのテストの「みんなの為になるかどうか」とか「公平かどうか」、そういったことを意識しながら、以前お話しした沖縄でのレンタカーの情報共有とか、そういうことも重要なのかなと思っています。

そんな中で私事ではございますが、来年の3月か4月頃に沖縄の整備工場をやることに決しました。向こうで従業員を雇って工場を作る事が確定しましたのでご報告させていただきます。那覇市の曙という所で150坪位でレンタカーの整備を全て担います。

当社の年間休日は110日でしたが、来年からは120日に変えて求人をやっています。東京のお店で人が足りなくなり、年末に3人採用することができました。休日は大事なのかなと実感しました。

サウナで閉じ込められるという事件がありました。開業した時から非常ベルがつながらなくても金儲けができればへっちゃらというような、目先のことしか考えていない商売が増えているんじゃないかと思います。

来年の抱負としては、こつこつ1万円でも5千円でも利益を拾っていきます。

## 親睦委員会報告

関根委員長



先日はクリスマス例会にご参加くださりまして誠にありがとうございました。とても楽しい1日を過ごす事ができました。

1月13日(火)は新年例会があります。18時30分点鐘で門松本店で行われます。ご家族の方のご参加もよろしくお願いいたします。

## 出席委員会報告

石原委員長



23名(出席免除者含む)出席(全員で32名) 出席率71.87%

業務による欠席：荒井フェロー、木村(隆)フェロー、倉持フェロー、

野田フェロー、日暮フェロー、福武フェロー、藤本フェロー、

前田フェロー、湯下フェロー

ZOOMによる出席：古谷野フェロー



- ・我孫子市から下総自衛隊、松戸自衛隊それぞれから会費のご協力のお願いが来ています。500円と600円の計1100円です。来年の新年例会でも徴収したいと思いますので、よろしくお願いします。
- ・下総基地の部隊見学の案内も来ています。1人2千円です。
- ・新年例会の前に理事会を開催したいと思いますので、理事の皆さんは17時30分にお集まりいただきますようお願いします。ラインで流します。

## 卓話

我孫子警察署 署長 佐藤渉様



この度は、このような貴重な機会をいただきありがとうございます。また、日頃より当署の活動にご支援ご協力いただいておりますことに改めて感謝を申し上げます。せっかくの機会でありますので、知っているようで知らない警察というのはこういうものですよ、という所を少しご紹介させていただいて、警察を少しでも身近に感じていただければと思います。

自己紹介からさせていただきます。出身は埼玉県越谷市という所で、地元の県立高校を卒業後、明治大学に進学し無事4年で卒業しまして、1996年、平成8年に千葉県警に採用されました。当時、バブル経済がはじけて就職氷河期と呼ばれていた時代でありまして、警察になるのでさえ結構大変でした。実は地元の埼玉県警は落ちまして、なんとか千葉県警に拾ってもらって千葉に来たという経緯であります。ちょうど来年が勤続30年という、私にとっては節目の年になります。略歴は、2009年(平成21年)に警部、2018年(平成30年)に警視に昇任し、昨年令和6年から我孫子警察署長を務めさせていただいております。

私の経歴で特徴的なのは、警察庁に計3回、トータル7年半出向したという点です。3回の出向ではいずれも国際関係の仕事に従事させていただきました。ICPOとかインターポールとか聞いた事があるでしょうか。ルパン三世の銭形警部が所属していたということでご存知かと思いますが、警察庁にあるインターポール東京事務局で各国警察との情報交換や捜査協力を担当しました。そこでの仕事は、銭形警部のように世界中を飛び回って犯人を追いかけるということではなく、基本的にはほとんどメールのやり取りです。

警察の歴史についてです。去年は千葉県警創設150年という記念の年でありました。日本の警察は明治政府発足後の明治7年に、当時の内務省の1組織として誕生しました。初代警視庁警視総監を務めた川路大警視という人物がいるのですが、日本警察の父として今でも崇められています。東京都調布市にある警視庁警察学校に川路大警視の銅像があるのですが、警視庁ではその銅像の前を横切ってはいけないという不文律があると聞いています。川路大警視の銅像はもう一か所、鹿児島県警本部の前にもあります。川路大警視が薩摩出身だからだと思いますが、鹿児島での英雄は西郷隆盛であって、川路は警視庁を率いて西郷を倒した憎い奴ということで鹿児島では川路はあまり人気がないと鹿児島県警の人から聞いた事があります。

戦後GHQによって内務省が解体されて、国家警察から自治体警察に移行しました。戦前の警察が非常に強力な権限を持っていて、思想取り締まりが厳しく行われていたことが、日本を軍国主義へ導いたとの考えから、日本を二度と戦争をしない国にするというGHQの占領政策の一環として国家警察から自治体警察へと変わったのです。また都道府県警察を公安委員会の管理下に元に置くことで、民主的コントロールが担保されています。

日本の警察は法律に罰則がある事件については全て警察の捜査の対象になります。国によってはテロとか、薬物とか、汚職とか、財務犯罪とかそれぞれ専門の法執行機関がある国が多いのですが、日本には捜査権のある法執行機関は多くありません。税関や入管という機関はありますが、彼らには捜査権がありませんので、税関が薬物を発見した場合は警察に引き継いで警察が捜査することになります。



警察庁と都道府県警察の関係について説明します。警察庁は国の政府機関の一つでその職員は国家公務員。一方で都道府県警察の職員は地方公務員です。私が警察庁に出向した時は、いったん千葉県警を辞職して、警察庁に採用され、地方公務員から国家公務員になることになります。

警察庁のキャリアという人がテレビドラマなどに登場しますが、キャリアの人は人数がそれほど多くないので、警察庁の各フロアで勤務するのは出向の警察官が大半という印象でした。

警視庁というのは東京都の警察で、都道府県警察のひとつです。しかし、首都警察ということで、予算の面でも人員の面でも規模が他の都道府県警察とはかなり違います。また、警視庁の上層部は警察庁キャリアが多いので実質、国家警察的な役割も担っている側面があるかと思っています。

警察の予算というのは複雑でありまして、人件費等の通常の経費は都道府県の経費でまかなくないですが、車両や装備等の全国で統一しなければならないものは国費でまかなくないです。仕事をしている中で、これは県費だ、これは国費だ、とか財布の出所が違います。

事件に関しても国全体に関わるような事件は国費だったり、その辺で起きている泥棒事件や傷害事件は県の予算になりますが、泥棒事件でも複数県にまたがると国費だったりと煩雑です。千葉県警の予算は約1600億です。その内、人件費が1300億でほぼ人件費です。これから人口減少する中で警察の定員もなかなか増えない、事件は複雑化する、ということで、これからはデジタル技術やAIの活用によって業務の効率化を図ることが大きな課題だと思います。警察はまだまだ紙で、ハンコを押す仕事が多く、なんとかならないかなと思いがら日々ハンコを押しています。

警察が直面する課題はいろいろありますが、何点か皆さんと共有したいと思います。

まず匿名・流動型犯罪グループ(トクリュウ)対策です。最近はメディアでも耳にする事があるかと思っています。かつては犯罪組織といえば暴力団でしたが、現在はSNSで闇バイトを募集して犯行毎に実行者が入れ替わって流動化する、誰に指示されているのかもわからないという特性をとらえて匿名・流動型犯罪グループと命名して対策に取り組んでいるところであります。トクリュウと我々は呼んでいますが、その資金獲得方法も多様化しておりまして、電話de詐欺が代表的なものです。強盗や悪質リフォーム等いろいろあります。彼らは犯罪で得た資金を風俗店とかキャバクラ等の運営資金にして、そこで得た収益をまた新たな犯罪の活動資金にするという形で、組織内で資金を還流して、組織をどんどん大きくしており、その実態解明と組織の解体が喫緊の課題となっています。

その具体的対策として、昨年、警察庁及び各都道府県警察にそれぞれ司令塔を設置して、情報共有を図る仕組みを構築しました。また警視庁に全国の捜査員を集めたトクリュウ専門の取り締まりチームも創設し、全国警察の総力を結集して対応しています。その成果として昨年、闇バイトによる強盗事件の指示役4人が逮捕されました。

続きましては、話題がガラッと変わって自転車のルール改正です。自転車事故は交通事故全体の約25%を占めております。身近で気軽な交通手段として利用されていますが、反面、ルールを守らない危険な運転が多く社会問題化していて規制が強化されてきました。令和5年からヘルメットをかぶってくださいと言っていますが、千葉県のヘルメット着用率は全国ワースト3番目か4番目で数%しかかぶって来ていません。運転中の携帯電話の使用と酒気帯び運転が罰則化されました。令和8年4月から自転車への反則切符が導入され、車と同じように反則金を払わなければならなくなります。

続きまして、経済安全保障です。我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中、我が国の企業や研究機関の持つ先端技術や情報が外国に流出することは安全保障上の重大な脅威となります。公共の安全と社会秩序の維持を責務とする警察は標的となりうる企業に対し外国勢力からの様々な働きかけから守るために必要な支援活動を実施しています。ここにお集まりの皆さんは直接の対象にはならないかもしれませんが、いろいろパイプをお持ちだと思いますので、不自然なアプローチがあった場合は注意して、そうではないかという疑いがあれば我孫子警察署の方にご相談いただければと思います。

我孫子警察署に2年間勤務させていただきました、非常に強く感じたのは、我孫子は地元の関係行政機関、各種団体、警察官友の会にはいつもお世話になっておりますけれども、友の会も含めまして非常によく連携が取れているなという印象です。我孫子市長をはじめとする市の関係各課、消防、警察は協力関係が強固でありまして、日頃から顔の見える関係を構築しているところであります。また各種防犯ボランティア団体の防犯意識も高く、自主的な活動も活発に行われています。そういう基盤があるからこそ、我孫子の治安が保たれているということでありまして、そういった我孫子の強みを今後も活かして持続していくことが重要だと思います。

とはいえ、刑法犯認知件数は昨年と比べて60件近く増えております。電話de詐欺も件数は横這いですが被害額では今年すでに3億2千万円で、昨年の1億8千万も多いと思いましたが、さらに大幅に超えてしまいました。我孫子警察署といたしましても、気を引き締めて各種対策を講じてまいる所存であります。

最後になりますが、皆様のご活躍ご発展を祈念いたしまして私からの話とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

Q:我孫子の中での外国人犯罪で、もしお話しできる範囲であれば教えてください。

A:無免許運転とか交通関係の事案は多いですが、犯罪で外国人を逮捕したということや、事件として扱ったということはそんなにないです。

ただ一方で、ゴミ出しのルールを守らないとか、夜中に騒いでるとか、上の階が外国人でドタバタしてうるさいとか、そういう迷惑行為の通報は増加しています。

我孫子市でも外国人は急増しており、住民の方に不安が広がっているのは確かかなと思います。

Q:建築業をやっていますが、1週間前にもあったのですが、前の家で工事をやっている者なんですけど、と来て屋根に登って屋根をはがして帰ってしまったのですが、そういうのって警察に届けを出した方がいいんですか？

屋根を壊して写真を撮って、お客さんに膨大な見積もり書を持ってきて、うちに連絡が来て発覚したのですが、そういうことがたくさんあります。月に5、6件そういう話が来る事もあります。

A:個別に内容を見てみないとわからないのですが、ご相談いただければ警察としてできる対応があるかもしれません。



佐藤署長、本日はありがとうございました。  
例会を閉会いたします。

## ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金 額
柳田会長	佐藤署長 卓話ありがとうございました。	1,000円
梶幹事	佐藤署長 卓話ありがとうございます。	1,000円
石原会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
甲斐会員	佐藤署長ありがとうございました。	1,000円
上村(英)会員	佐藤署長ありがとうございます。	1,000円
上村(文)会員	我孫子警察署長 卓話ありがとうございました。 警察の組織の事が理解できました。	1,000円
川村会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
木村(政)会員	我孫子警察署長 卓話ありがとうございました。	1,000円
小池会員	佐藤警察署長さん 卓話ありがとうございました。	1,000円
佐藤会員	我孫子署長さんの卓話ありがとうございました。	1,000円
鈴木会員	卓話感謝	1,000円
関根会員	卓話ありがとうございました。カレンダーありがとうございました。	1,000円
寺井会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
松本会員	署長 卓話ありがとうございます。	1,000円
村越会員	佐藤署長 卓話ありがとうございました。	1,000円
依田会員	佐藤警察署長様 卓話ありがとうございました。	1,000円
米田会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
当 日 計		17,000円
今期累計		234,000円

## ●本日のランチ



今週の表紙「旧小熊邸」千葉県我孫子市本町3丁目10番

旧水戸街道沿いにある、江戸時代の我孫子宿の間屋兼名主だった小熊甚左衛門のお屋敷です。天保2年（1831年）の建築で、かつての脇本陣の姿を偲ばせる重厚な茅葺屋根です。寛文5年（1665年）以来の我孫子宿の人別帳、年貢などの古文書を保存しています。杉村楚人冠の湖畔吟社の句会会場でもありました。敷地内は非公開です。

ロータリーの友事務局 ホームページ [www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp) メールは [web@rotary-no-tomo.jp](mailto:web@rotary-no-tomo.jp)

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。